

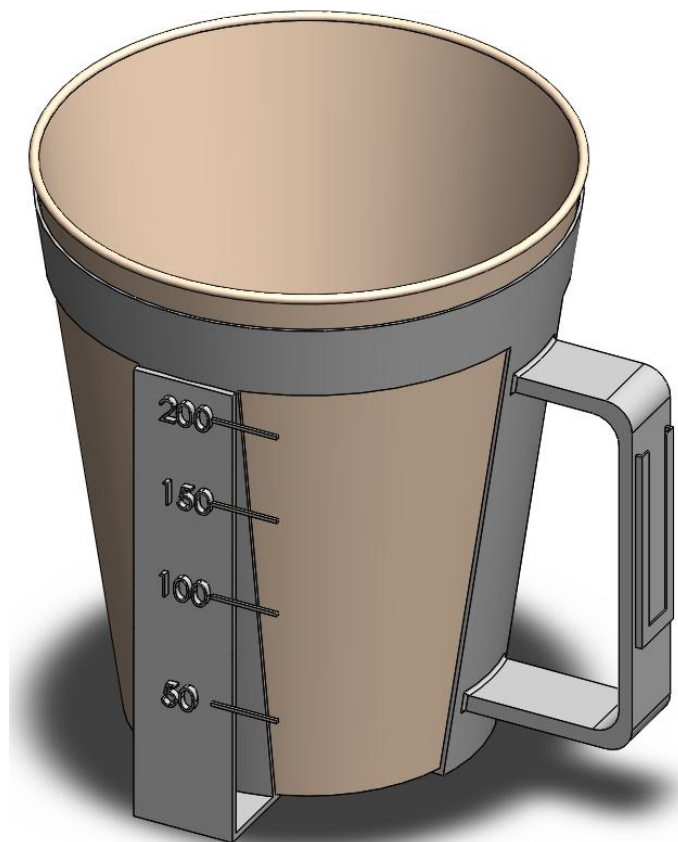
課題

- ほとんどの紙コップには目盛りがなく、どれくらい入っているのか、減ったのかが分かりにくい。
- いわゆる計量カップだと、食品以外のものを量った後は、いくら洗浄しても食品には使えない。紙コップなら使い捨てにできる。

課題の解決手段

- 紙コップを計量カップとして使用するのので、計量後は紙コップを廃棄できる。したがって食品以外のものも気軽に計量できるようにした。
- 一般に手に入りやすいサイズの7 oz (205ml) 紙コップで設計した。
- ホルダーには持ち手を付け、紙コップを支えることと簡単に持ち運びができるようにした。また、ホルダーを軽量化するためスリットを入れた。

作品の紹介



- 紙コップをホルダーにセットし、目盛りを見ながら簡単に計量できる構造にした。
- 手に入りやすい標準サイズの7oz（205ml）紙コップで設計した。
- 持ち手を付けたので、安定して持ち運びができる。